



君とボクの
過失割合

三隈歓迎会 & 搜索お疲れ様会

司会進行の
那珂ちゃん
だよあ☆

新人さんに
自己紹介して
もらっちゃおう☆

三隈ちゃんの

アヒール
ホイントは
なじかなあ

初めまして
くまり…
三隈と申します

いえ…特に
そんなものは

もっとガンガン
いかないと!

ワイフで
扱られないよ





ここにはもう
モガミンのお友達が
沢山いますのね…

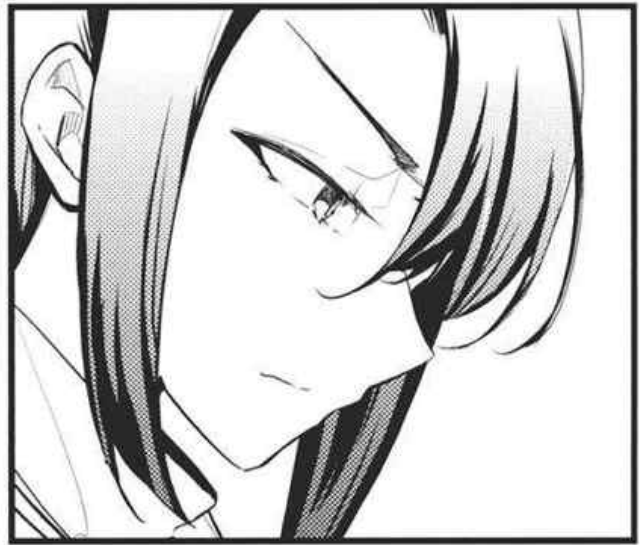




演習に出されて
ばっかりなん
ですもの

そうやって
毎日知らない艦と







重巡洋艦・最上は
停止している
ように見えた

大丈夫

これなら
横を抜けられると
私は前進した



じつが...

ゴッソッ☆



衝突事故

を起こして
しまうなど

那智
一生の不覚ッ!

な...何?

やったって
何をなの??



初めて
だったのだ...
この護身符で



やってしまったのだ



モキールニキ助のこぼ





うちの那智を
傷物に
したのは…

どこの
どいつよ

で



随分若い子
じゃない

このプリンも
最上に食べて
もらえるなら
幸せだろう

確かに「ホク」って
言ってるけど
本当に男の子
だったの???



重巡
最上
だ!

ちゃんと食べないと
航空戦艦になれないぞ

私のプリンを
やろう



この前は
ごめんなさい
ホク…

あ…謝ら
ないでくれ

君は悪くない
私が不注意なのが
いけなかったんだ



待て
足柄!

どういう
つもりなの
最上君!

那智さん!



ちよっしお



同じ重巡洋艦で
ありながら
あまり面識のない
我々であったが

こうなったのも
何かの縁

これから
あの様な事故を
未然に防ぐように

もっとお互いを
知る必要があるの
ではないだろうか



まずは
交換日記から

頼む。

はい

どうして
そんな所から
始めるのよ

十回分

最上と
そのような
行為！

この日向を
倒してからに
しろ！



う〜ん…
ボクは
何て書こう
かなあ…

日記？



う〜んあ

那智さん所も
四人姉妹なんだ

ボクと
同じだね

最上型は
まだ二人しか
いないけど…



今日は敵空母を
3隻撃沈させる
任務がある日でした

敵はなかなか
手強かったです

だけど

仲間の支援あって
ボクもなんとか
軽空母を撃沈させる
事が出来ました

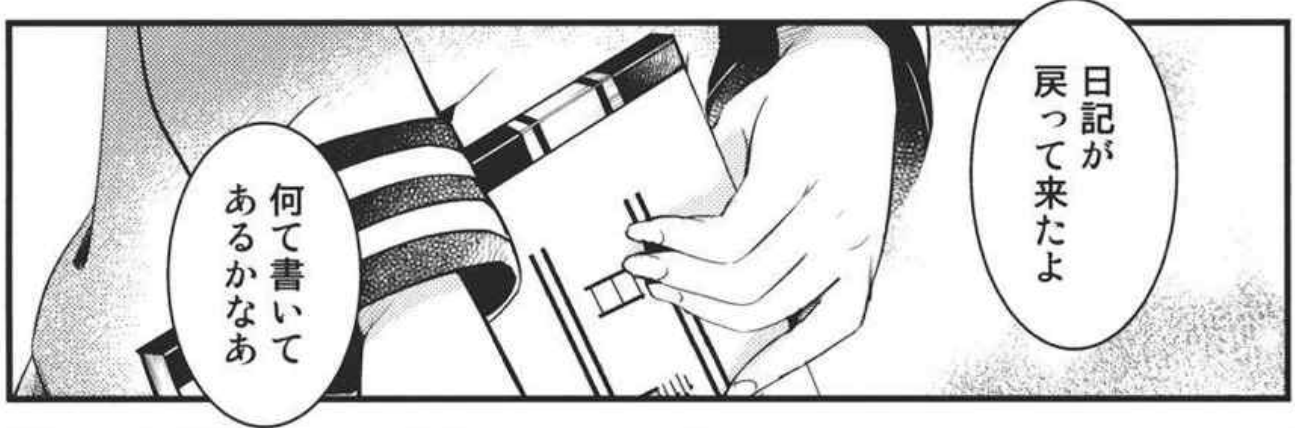
任務は
無事達成しました



ボクもみんなの役に立てて良かったです

おわり。

小学生の日記かつ!



日記が戻って来たよ

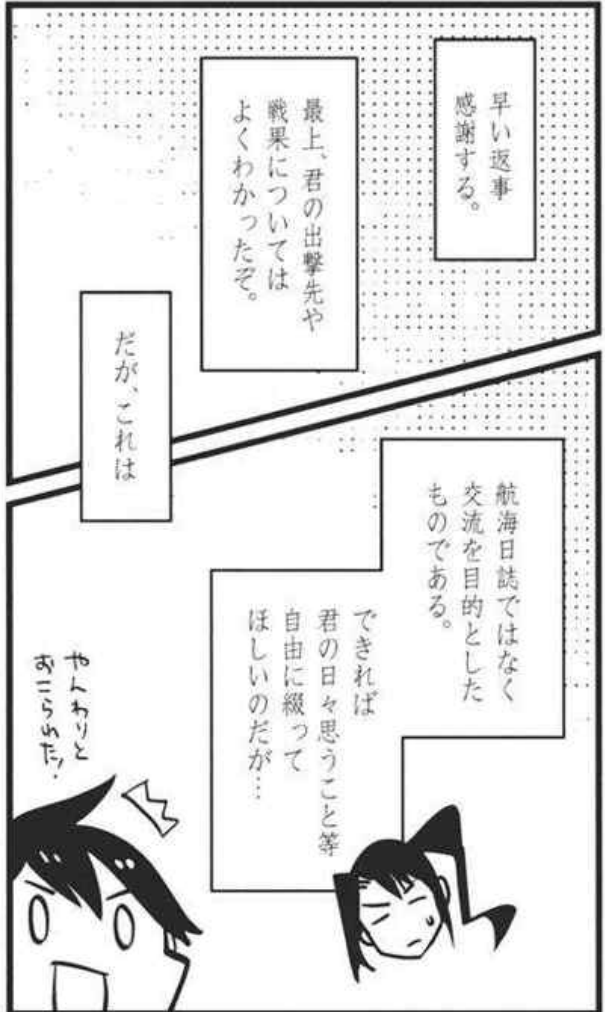
何て書いてあるかなあ



三限のこと書いてください



毎日同じ生活
なんだから
他に書くことなんてないよおお



早い返事感謝する。

最上、君の出撃先や戦果についてはよくわかったぞ。

だが、これは

航海日誌ではなく交流を目的としたものである。

できれば君の日々思うこと等自由に綴ってほしいのだが...

ちゃんわりとおこらぬた!



彼女が
書いているのは

尊敬している
お姉さんのこと

引っ込み思案な
末っ子のこと

好戦的で張り合い
のある妹のこと

読んでいて
姉妹の事が好きなん
だなって感じるんだ

そんな日記を
綴れるのが
羨ましいよ…

ボクはまだ
三限のことは
書けないなあ

衝突事故あと
修復させないままで
すまなかったな

最初はドッグが
空いてないから
だったんだが…

君達が十分な
レベルである事に
気づいてな

この機会に
「改造」を
行うことにした

予定日は—





どうして
そんな大切な事

ひとりて勝手に
決めてしまうのよ

私に相談
してくれたって
いいじゃない

足柄

先の話になるが…
重巡二隻を必要
とした作戦がある

私たちの実力を
十分に発揮できる
海域だと思ふ

どうだ
私と一緒に

行かない

何でも話せる
仲だつて
思つてたのに

那智にとつて
私つて

その程度の

信頼なのかな



いや…私は

これまで
共に戦って来た
貴様とだな…

うんうんばー！

そんな気遣い
足柄さんには
無用ノ介よ！
おほほほ



だっだっ
那智には最上君が
いるじゃないの

今私戦いに
飢えてないし
何より彼に悪いし

いいから
いいから



ああつもう
なんなの
なんなのっ！

私に構わない
ですよ！

どうやら足柄は

私が最上と
日記を始めたことが
気に入らない
らしく…



ボクとっても
迷惑ッ！



困るなあ

ボク足柄さんと
面識ないんだけど…

そんなの
放っておけばいいのに
那智さんは過保護だよ



へソを曲げている。

せつかくのところが
すまんな、最上。

だが、私はもう
その作戦には
足柄と出撃すると
決めているのだ。

別にボクは
行きたいなんて
いってないのに…

頼みがあるんだが
君からアイツに
私と出撃するよう
説得してくれないか？

姉が言って聞くような
奴ではないのでな…

とほっせー
だっだっだっ
おほほほ

ん？

日記



姉さん達なら
留守にして
ますけど…

へえ…

あ

ん!

良かったら
私達の部屋で
お茶でも
しませんか?



妙高型 重巡洋艦
那智・足柄

いないのかな?



珍しいね

妙高型さん所って
一番艦と四番艦
二番艦と三番艦が
同じ部屋なんだね

以前は順番通り
だったんですけど

何故か自然と
こうなってしまうて

自然と?

ゴホホ...



あー、
本当だ!
まだ炬燵が
出している

どうして
そのことを?

那智さんが
教えて
くれたんだ♪

那智姉さんったら
他所で変なこと
話さないで
ほしいなあ…

もちろん
私も妙高姉さんも

那智姉さん
足柄姉さんと
仲良しですよ

だけど二組に
分かれる必要が
あった時

自然と
この組み合わせ
になるんです

最初は皆
妙高姉さんと
一緒がいいって

取り合い
なんですけど

結局は一番下の
私に譲って
くれるんです

いつも
それを選ぶんだから
なら最初から

二人でいいと
思ったのかも
しれません

なんだか
いいなあ
そういうの

最上さんの
姉妹艦は…

三隈さんが
いるんでしたね

…うん

さらに後ろに
三番艦 鈴谷
四番艦 熊野
がいるよ

だけど二人は
まだ鎮守府に
いないんだ…

ボクは三隈が
来るまで

ずっと一人
だったから

もしかしたら
みんなに

さみしくない
ようにって

気を遣わせていたの
かもしれないね…



どうしたらいいかわかんないよ!

そんなボクだからさ
いきなりお姉ちゃんになれと言われても

困るんだ!

ボクは三隈に

どう接したらいいのかな…



周りがいつもボクのことを

妹のように優しくしてくれて

ボクはそれに甘えることに慣れてしまっていたよ



ボクも妙高さんみたいな立派なお姉さんになれるかなあ…

最上さんがどんな姉妹になるかは考えなくても

うちを見習うことないですよ

自然と決まってしまうんですから

そうかな…?

はい
ちゃんと決まっちゃいます



うん！

早くそう
なるといいなあ



—今日の演習

何だか
子供っぽい娘
ばかりで…

私浮いちゃう
なあー



また
知らない方と
演習…

ここにモガミンが
いてくれたら…



こんな時那智が
いてくれたら…って

馬鹿ね
あいつはもう…



モガミンは
うちの
ネームシツプ
ですよ！

大体悪いのは
那智さん
でしょう！

最上型 那智
として来るのが
筋つものですわ！

那智にこんな
セーラー服
着せるわけには
いかないでしょ！

モガミンだって
勢いよく
中破したら
かわいいそうです

言うわね

大人しい子だと
油断したわ！

やっぱり貴方
猫かぶって
いたのよ！

貴方だって
猫かぶっているじゃ
ありませんか！

澄ました顔
してるけど
本当は…

那智さんを
取られたくない
くせに！

…私は

そんなこと…
思っていないわよ



思っていない...

そんな
大切にも思っていない
お姉様なら

こっちに
やっても構わない
じゃありませんか

モガミンを
返してください

彼女は
私のお姉様で

一番のお友達
なのよ

誰にも渡したく
ありませんわ！

だから
おねがい

私からモガミンを
取らないで...

素直な気持ち
そのまま
泣く彼女が

私は
いいなと思った



姉であり
友達でもある
那智とは

どんなことも
話し合える相手で
いたいと思ってる

本心で
ぶつかり合って
いると思ってる

これまでは

その関係を変えて
しまったのは
那智じゃない

私だったのよ

先日は出向いて
もらったのに
留守ですまなかつた

足柄のことだが
あいつは昔から
負けず嫌いでな

改造の話聞いて
私に先を越されると
焦っているんだろう

また
足柄の事に
なっちゃったな

足柄

おかえり
足柄





私って
嫌な奴だなんて
思うのよ

酔
ニ
マ
ガ
ニ

ム
シ
ヤ
ニ
シ
コ
フ



最近貴方にも
よそ行きの
顔しているのよ

ああ：
そうだな

明日貴方の
晴れの舞台だと
だというのに

おめでとも
言いたくないの

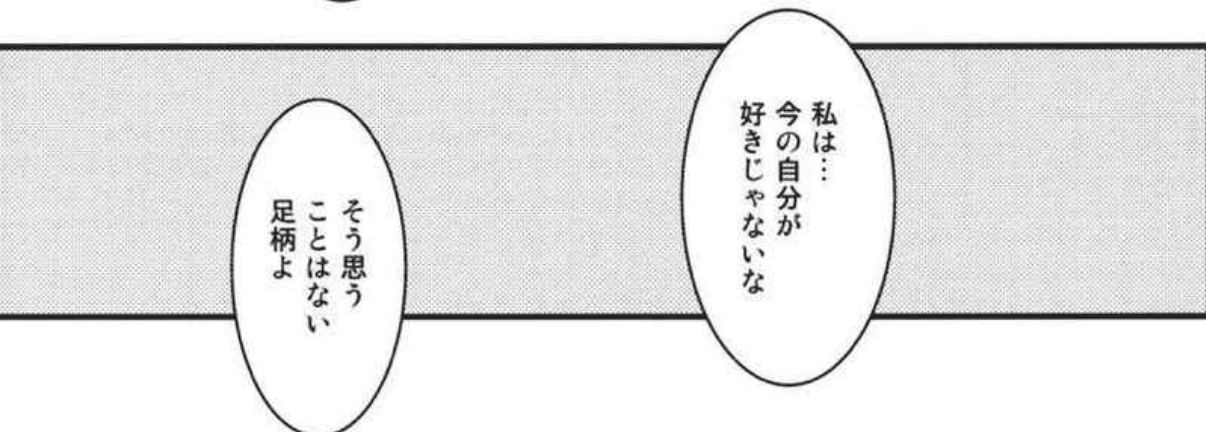
貴様なら
そう言う
と
思っていた



私の事何でも
知ってるような
こと言ってる！

むがこく

私は姉なの
だからな
当然だ



私は：
今の自分が
好きじゃないな

そう思う
ことはない
足柄よ





ボクは三隈が
ここに來てから

これからは
最上型のお姉さんに
ならなきゃって

思い悩んでいただけ

そんな難しいこと
考えなくても
良かったんだね。

みなさん！
よろしいですか



三隈の立体的な
航空砲雷撃戦

勝手に
仕切らないでよ
ボクが旗艦
なんだよ！

始まりますわ！

私たちが
頑張らないとね

わたくしも
アレが欲しい
ですわ

ボクは
気づいたんだよ

本当は…

ううん、

最初からずっと
思っていたんだ



「友達」に
なりたいたんだけって！

ポクは君の



最上型二番艦も
無事改修を
終えたようだ

やっと
お姉さんと一緒に
なれたのね…

その交換日記
まだ続けてたんだ

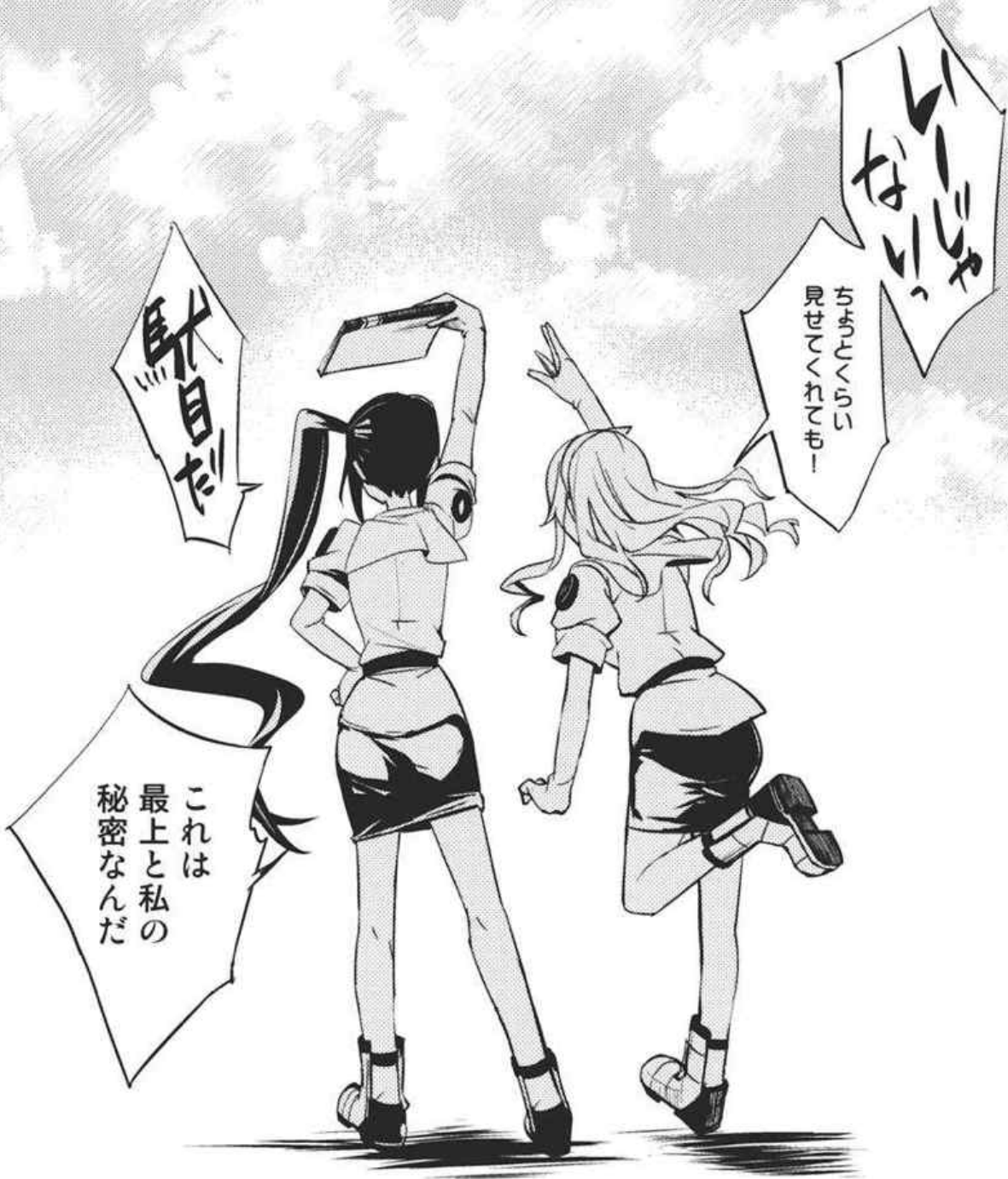


それにはさ
妙^う高^ち型のことも
書くんでしょ

私のことは何て
書いてあるの？



教えてよ



あとがき

こんにちは、滝太郎です。

何でこの括りという表紙ですが、那智と最上が衝突したことがあるという史実からきてます。

最上と三隈（というか最上型四人）の関係性ってどんなのが謎なんですよ。描いておきながら。妙高型はこんな姉妹なんだろうなってのがすごく良くわかるし、あんな四姉妹羨ましいなと思います。なので最上型がどんな姉妹になればいいか悩むって話そのものにしよう！と描きました。

モカミンは長女なのに末っ子のようなしたたかさを持っていると思っってますw他の三人の方が面倒見が良いかもしれません。描いた後も熊野と鈴谷に最上がどう接しているか、まだ考えている途中ですが、独自の関係を築いているといいな。

妙高姉妹は、妙高（28）那智（25）足柄（24）羽黒（20）のイメージで描いてます。羽黒が妙高と仲良しなのは、最上と同じで誰が自分に一番優しくしてくれるかを見抜いている末っ子だからです。

三隈を持ってない方は多いと思いますが、とても可愛いので鎌守府来た際にはぜひぜひ育ててください〜！！ではでは！

うちに来た順は最上→三隈→熊野→鈴谷 滝太郎



君とボクの 過失割合

2014年3月21日

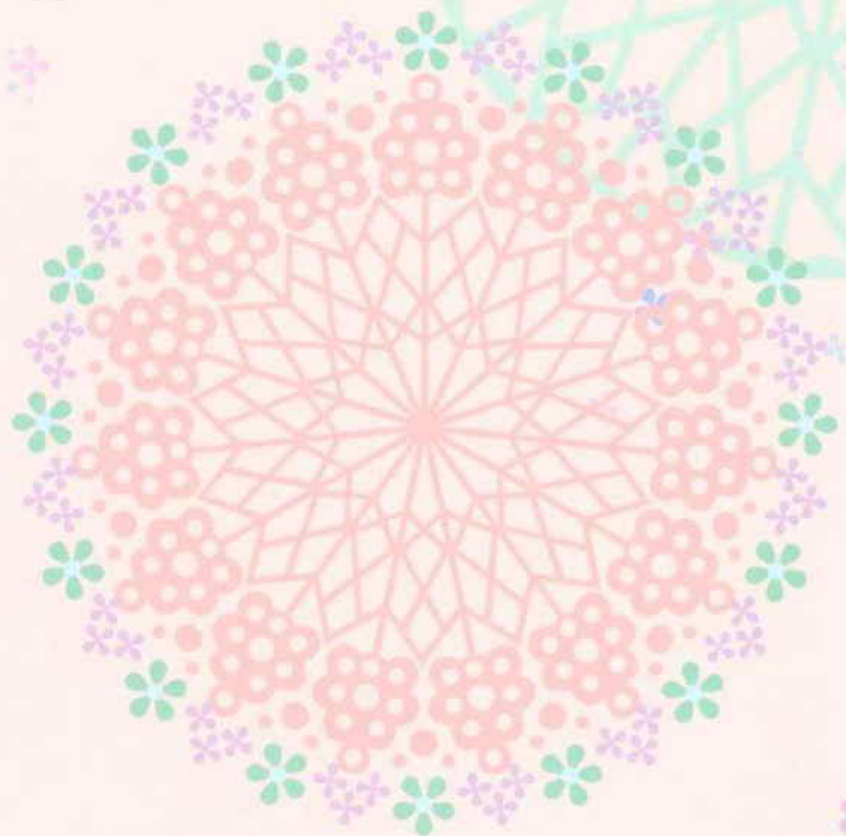
発行：LETRA [滝太郎]

WEB: <http://cute.sh/airo/> mail: tenhou@saku2.com

印刷：パワープリント

この本の無断複製・ネットでの転載を固く禁じます。

君とボクの
過失割合



KanColle FANBOOK#03
Presented by **LETRA**